

ウッドデザイン賞2015 実施概要

募集期間 2015年9月1日～10月7日

総応募数 822点

受賞数 397点

最優秀賞 1点 / 優秀賞 9点 / 奨励賞 30点



シンポジウム&交流会

表彰式後、東京ビッグサイトのレストランホールにおいて、「ウッドデザイン賞2015シンポジウム」が開催されました。審査委員による賞の総括と今後の期待について意見交換が行なわれ、とても示唆に富むものでした(詳細は8ページ)。その後、受賞者、関係者、審査委員を交えた交流会が催され、お互いの取組や製品開発などについて熱く語り合っていました。

※掲載情報は開催当時のものです

審査会の様子

第二次審査では、木製品等の現物を始め、パネルや写真などの多くのプレゼンテーション資料に囲まれ、各分野の気鋭の審査委員が真剣な眼差しで討議、審査を行ないました。審査会場となった「木材会館」(東京木材問屋協同組合様、東京都江東区新木場)檜ホールは、空間の素晴らしさとともに、木の香りでいっぱいになりました。審査は長時間に及び、熱い議論が交わされました。



受賞作品展示

「エコプロダクツ2015」では、「ウッドデザイン賞2015特設ブース」を設置し、受賞作品全点のパネル展示と木製品の一部を实物展示しました。期間中、大変多くの来場者が訪れ、作品に熱心に見入ったり、メモをとっている光景が頻繁に見られました。



展示施工協力: 乃村工務社
撮影者: 工藤 明敏 (上2点)

発表・表彰式

最終審査を経て選ばれた最優秀賞(1点)、優秀賞(9点)、奨励賞(30点)の発表及び表彰式が、12月10日、日本最大級の環境展示会「エコプロダクツ2015」のイベントステージにおいて行なわれました。表彰式では、今井敏林野庁長官、吉宗良明全国木材協同組合連合会会長のご臨席を賜わり、受賞された40団体の受賞者に賞状が授与されました。初のウッドデザイン賞の上位賞に選出された皆さんは、様に笑顔で、写真に収まっていた姿が印象的でした。



ライフスタイルデザイン部門優秀賞の皆さん

最優秀賞・西栗倉・森の学校様

今井敏様

ソーシャルデザイン部門優秀賞の皆さん

ハートフルデザイン部門優秀賞の皆さん

吉宗良明様

赤池審査委員長

広報・PR活動

各種イベント、展示会、勉強会等でウッドデザイン賞の趣旨や受賞作品の紹介を実施しています。次回開催へ向けて、評価されたポイントやプレゼンテーションの事例など参考にしていただいています。今後も各地域や団体と協働してウッドデザイン賞の普及啓発に努めていく予定です。



「木と住まいの大博覧会」(ナイス、木と住まい研究協会)様

「ロフト東京ソラマチ店」様

「ハッピーマフェスタ2016」様

「ウッドコレクション(モクコレ)2016」(長野県・岐阜県・東京都)様

建築・空間分野
JRKYUSHU SWEET TRAIN「或る列車」
 九州旅客鉄道株式会社

乗客や地域の方に愛され、地域の魅力を発信するクオリティ高い列車。車内は木材をふんだんに使用し、クラシカルな雰囲気を感ぜられる空間、組子の雪見障子を使用した個性的な個室空間となっている。

コミュニケーション分野
アベマキ学校机プロジェクト
 岐阜県立森林文化アカデミー、美濃加茂市、可茂森林組合、美濃加茂市立山之上小学校、株式会社丸七ヒダ川ウッド、岐阜県森林研究所

地元の小学生が地域のアベマキをさまざまな体験で学び、学校机の天板を制作。出来上がった天板は翌年入学してくる新一年生に贈られる。里山の整備と地域材の循環、そして子どもたちの地域の自然に対する心を育む。

コミュニケーション分野
東京おもちゃ美術館「ウッドスタート」
 特定非営利活動法人日本グッド・トイ委員会

「ファーストトイは地産地消の木のおもちゃから」を合言葉に、地域材を子育てで支援に活用する取組。自治体で赤ちゃんが誕生したら、土地の木材を活用し、土地の職人が木製玩具を制作し、プレゼントする。

最優秀賞(農林水産大臣賞)

ソーシャルデザイン部門/コミュニケーション分野
「みんなの材木屋」発
森と暮らしを創る六次産業化モデル

株式会社西栗倉・森の学校

欲しい暮らしを自分でつくる人のために、材木のダイレクトマーケティングにより新たな市場開拓をする取組。材木規格の再定義やわかりやすい木材等級、購入者自身が手を加える半完成品のプロダクトや内装やインテリアをつくるノウハウのオープン化など、消費者視点での製品開発、木材購入ができる仕組みを構築した。森を育てた人と暮らしをつくる人を繋げてワクワクする「森と暮らしの未来」を目指す。

建築・空間分野
積水ハウス シャーウッド～純国産材プレミアムモデル～
 積水ハウス株式会社

木造住宅「シャーウッド」において、柱と梁を100%国産材化した商品。顧客の住まいに近い地域ブランド材を使用し、住まいへの愛着や地域材への関心を増すことを狙いとする。国産材の魅力を語れる体制も整備。

コミュニケーション分野
キシル六次産業化プロジェクト
 株式会社キシル

ユーザーの要望や情報をもとに、地元林業家や製材・加工業者と積極的に連携した六次産業化の取組。「売り先が決まっている」強みから、販売計画から伐採や製材、製造を進め、消費者のニーズを即座に反映できる。

技術・研究分野
RC/S造建築物における内装木質化設計マニュアルの作成
 公益財団法人木材・合板博物館

RC/S造建築物の内装木質化の「防耐火規制」の諸規程をわかりやすいマニュアルにした。インテリアデザイナーや建築士による、センスあるデザインの中で木という素材は主張されるべきと考え、需要増加に繋げる取組。

建築・空間分野
らぼーと海老名キッズプレイエリア「ウッドキューブ」
 大建工業株式会社、NPO法人日本グッド・トイ委員会 東京おもちゃ美術館、パワープレイス株式会社、三井不動産株式会社

親子と一緒に遊び、国産材の良さを実感できるキッズプレイエリア。ユニット化された家具型木質空間で、創造を育む木のおもちゃや造形パネルも設置。木の良さを身近に感じ、心地よく過ごせる環境を提供している。

コミュニケーション分野
住まいの耐震博覧会
 ナイス株式会社

メーカー、流通、住宅施工、住宅関連の事業者、自治体が参画し、木を活用した住まいづくりの提案、耐震性や省エネ性、健康性に優れた最新の家づくりなどを一般ユーザーやプロユーザーに幅広く情報発信。

技術・研究分野
連続開口設計サポート
 株式会社LIXIL

流通木材で構成した開口ユニット毎に構造解析し、開口部を耐力壁とする在来木造住宅を一般ビルダーで提供可能とするシステム。窓を通して快適で明るく、風や太陽の光に満ちた空間の在来木造住宅を実現する。